

三和システム株式会社
東京オフィス ゴルフ場IT部
シニアマネージャー

坂巻 賢一 氏



これからのゴルフ場経営を語る上で、IT（情報技術）は不可欠な要素となっている。そして、基幹業務を支えるコンピュータシステムが、営業ツールとして更に進化しようとしている。これからのITとゴルフ場経営の関係について坂巻氏にお聞きした。

<編集長 喜田 任紀>

ゴルフ場経営をサポートして、 ゴルフ業界を元気にするのが 私たちの仕事

喜田 難しいコンピュータの話は今回はなしです。どうすれば、ゴルフ場が元気になるかを、ITという切り口からお話を頂きたいと思います。

坂巻 そうですね、まず、申し上げたいのはITの言葉に置き換えて良いと思いますが、コンピュータシステムは、利益を生ませるための経営ツールだということです。まず、利益を出すためには、多くのゴルフ場が取り組まれているように機械化によるコスト削減という動きになると思います。これらの仕組みを作らないで、人を減らしたのでは必ずどこかにひずみが出ます。一時的に利益が確保できたとしても、健全な経営体質に転換できなかったとは疑問です。これは、コンピュータのオペレーションシステムを積極的に利用すれば、いまでは簡単に実現できることです。現在のゴルフ場経営は、どうすれば商圏内の集客力を高めることができるかといった新しい営業展開が求められています。そこにはプレー企画の立案、顧客対象の絞り込み、プレー料金設定といった総合的な経営判断が求め

られています。貴誌で特集されましたが、イールドマネジメントもそのひとつです。こうした、経営資源を投入して、利益率はどうなるのかといったことを判断するためには、コンピュータがなくてはならない道具となっていると申し上げてよいと思います。

喜田 そこで、コンピュータをそうしたマネジメントツールとして活用しようとする、コンピュータメーカーも、どう使えばよいかというコンサルタント的な要素が求められるのではないのでしょうか。

坂巻 例えば、イールドマネジメントを導入する場合、経験のある人がいなくて分析されたデータを適切に利用できるのだからと心配します。どうしても、複数年のコンサルティング的なサポートが必要になります。しかし、私どものような会社がコンサルティングをすることで、あいまいなポジションになることは避けたいと思っています。コンサル会社を紹介させて頂き、役割を分担することで、ゴルフ場も、コンピュータシステムも進化していくのだと思っています。ここは、ゴルフ

場の方にもがんばっていただいて、コンサル会社の方と戦術を練って頂き、私どもはITの部分で両者をサポートすることが良い関係だと思っています。

喜田 しかし、メーカーという立場からの提案もあると思うのです。

坂巻 もちろん、私どもからのご提案もさせて頂いていただいています。これまでもゴルフ場システムを開発する中で多くのことを、ゴルフ場の方々に教えていただきました。それらの中から幾つかの成功例を提案させて頂いています。ただ、まだまだ転換の可能性が残されている部分があり、もっと良い結果が出せる、そうしたタイミングにある気はしています。携帯やインターネットをシステムに積極的に組み込んで、使い勝手が良く、同時に、機能的な部分をもっと進化させて、経営ツールとして更に充実させたいと提案させて頂いているわけです。

喜田 とところで、コンピュータは使い勝手も良くなるでしょうし、黙っていても進化するように思ってしまうのですが。

坂巻 そんな、そうであれば、苦労はしない（笑い）。でも、実際は、お客様からご注文を頂くことでシステムは進化します。やはり、現場で使われている方は、私どもにとって一番キラーなアドバイスを下されます。ハードや通信の環境が急速に進歩を続けていますので半年前には不可能であったことが実現できるようになっているのがITの世界です。最

新のIT情報を使うシステムを提案して、一層、使いやすいシステムに進化するわけですが、外から見られれば、黙っていても進化はしていくのですけどね。

喜田 では、ゴルフ場を元気にするにはどうしましょうか。

坂巻 少なくとも、最新のITシステムを導入されたゴルフ場は良くなっていると楽観的な受け取り方をしています。これは、コンピュータシステムをどう考えるかとも関係するのですが、データの中に金鉱脈がある「青い鳥の話になります。元気の素が身近にあることに気づいて活用している会社は元気になっています。利益率管理という部分では、ゴルフ場のコンセプトとブランディングといった部分を全体的に考慮して、どういう価格帯で、宣伝や集客活動をするか、といった総合的な営業体制をとる必要があります。ゴルフ場の景気を良くするのは、リニューアルされた最新のITシステムで、仕組みを変えれば、元気になると思います。

喜田 さて、これからのコンピュータシステムですが、どうなりますか？

坂巻 通信環境の遅れがゴルフ場ITの遅れになっていきます。在庫の管理も他の業種ではリアルタイム処理です。現状はインターネットとゴルフ場の基幹システムまでですが、他の業界と同じように、外部とつながるネットワークが、現在のゴルフ場に求められている課題ですね。このネットワークの部分

中のスタンダードに近づけることで、ゴルフ場経営を更に効率化することが出来ると思っています。

ゴルフ場は経営の仕組みを再構築する時期にあり、やらなければいけないことがたくさんあって、コンピュータシステムの方も課題は山積みです。最近、いろいろとお話をいただきますが、ゴルフ場が動き出しているのだという感じを強く受けます。われわれは、最新の技術を使ったシステム作りという役割は果たせる会社でいたいなと思っています。求められている新しいシステムのキーワードはスピードです。新しく展開する商品もここがセールスポイントです。それと、使い勝手という点では、ゴルフ場システムの最終ユーザーはゴルフファンさんであると考えられる時期になっていることです。ゴルフ場のシステムを簡易にすることが、ゴルフファンにとって便利になるかというところではないと思っています。機械化できる部分は機械化するのは当然ですが、ゴルフ場のシステムを簡便化するという方向は考えていません。顧客管理、データの管理、経営へのフィードバックは、オリジナル性を持って工夫しなければいけないところだと考えます。そして、ゴルフ業界を元気にしたい。当社としては、元気になるという意欲のあるゴルフ場と協力して金鉱脈を掘り出す仕事をしていきたいです。

喜田 ゴルフ場が元気でない業界は活性化しません。期待しています。